

令和元年9月27日（金）山陽小野田市立小野田小学校にて
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う～体験学習～」
教室を開催：山陽小野田市薬剤師会、山口東京理科大学と共催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことを知ってもらう授業や体験実験を行っています。

山陽小野田市立小野田小学校の校長今本美智子先生、養護教諭真鍋英美先生をはじめ学校関係者、山陽小野田市薬剤師会、山口東京理科大学のご協力により、令和元年9月27日（金）、山陽小野田市立小野田小学校にて、くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う～体験学習～を下記の内容で開催しました。

当日は、小学生42名（5年生）が体験学習に参加しました。授業と体験実験は大変分かり易かったと大好評でした。



山陽小野田市立小野田小学校における 「くすりの正しい飲み方教室」



日時：令和元年9月27日（金）14時10分～15時45分
場所：山陽小野田市立小野田小学校 5-1、5-2 教室

内容：

・「実験を始める前のお話」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるかなど10の課題についてQ&A方式で小学生が答える、児童参加型で行いました。和田光弘先生、武藤純平先生がスライドを使ってわかりやすく説明し、小学生が元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

・「体験実験」

小学生は10グループ（1グループ4～5名）に分かれ、実験を行いました。内容をより理解できるように、和田・武藤両先生、山陽小野田市薬剤師会上林雅樹先生、山口東京理科大学薬学生（1、2年、14名）が補助しながら、体験実験を行いました。会場は児童さんの驚きの声や実験結果に対する歓声で盛り上がりました。

＜実験項目＞

1. コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」をのむのはなぜ？
2. 水がなくても飲める薬があるのを知ってる？
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
4. 「うがいぐすり」でうがいした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

児童の皆さんには、医薬品を安全・有効に使用するために、正しく服用することの意義を楽しみながら学んでいただけたと思います。

制作：山口東京理科大学 和田光弘

監修：NPO J-DO



Q&A形式での講義風景



学生ボランティアと児童の
実験風景